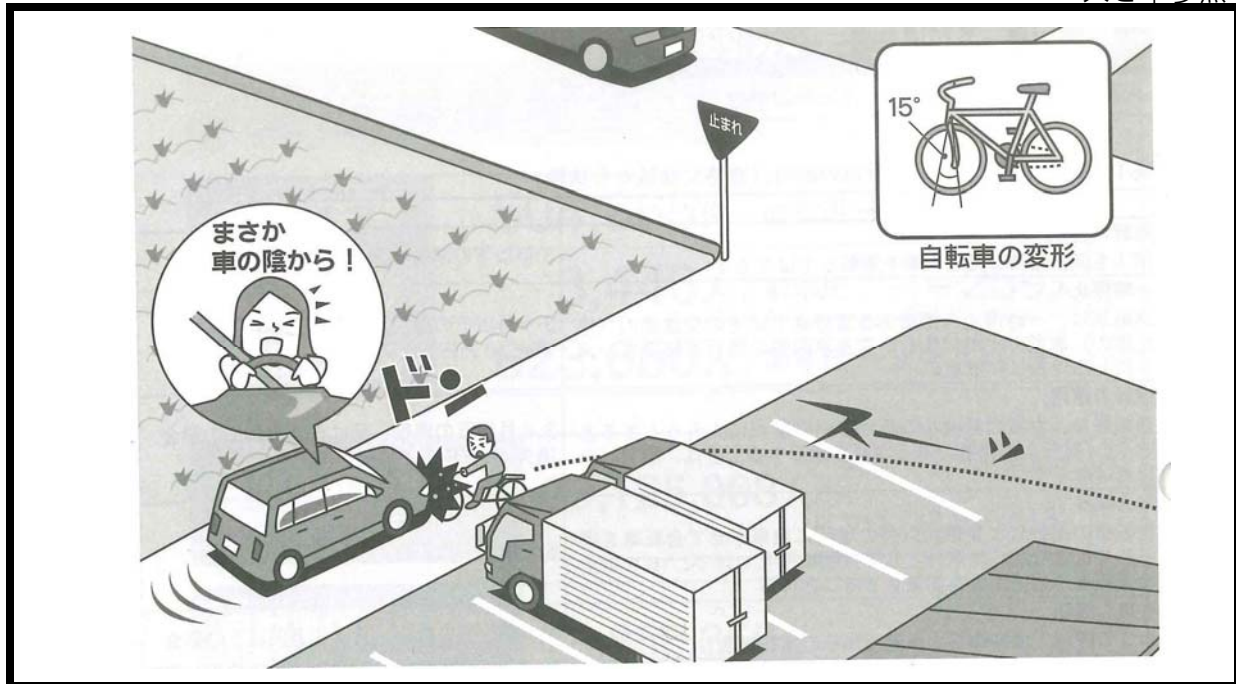


■事故の概況

人と車参照



事故類型：車両相互

発生日時：曇りの朝

当事者A：普通乗用車 40歳代 女性

当事者B：自転車 20歳代 男性

■ 事故の概要

Aは左側が畑、右側は大型店舗の駐車場になっている往復一車線道路を時速約20kmで走行していました。右側の駐車場には2台の軽貨物車が駐車していました。Aは前方のT字路交差点の一時停止標識を発見し、一時停止しなくては. . . と考えた時に右側の駐車車両の陰から飛び出してきた自転車に気づき、とっさに急ブレーキを掛けましたが間に合わず衝突してしまいました。

■ 事故から学ぶ

Bは交差道路側の歩道を走行して来て店舗の駐車場がガラガラだったので、斜めに行けば近道だと考え、駐車場を斜めにスピードを落とすことなく進み、そのまま道路に飛び出していました。いつも交通量が少ないので車が来ているとは思わなかったそうです。また、ブレーキを掛けなかったのも気持ちよく走って来たので、何となくブレーキをかけたくない気分だったと言っています。

Bには「自転車は歩行者ではなく車両であり、徐行や一時停止して安全確認をしなければならない」「きちんと交通ルールを守らなければいけない」という意識が薄かったのではないかと考えられます。自転車は速度も出るので突然の飛び出しに反応し避けることは難しい場合が多いので、車道に出る場合には必ず左右の安全を確認することが大切です。